



実り多い2学期にするために 浜頓別小学校長 堀 利 弘

普段の学校生活ではなかなかできない体験や挑戦、ご家庭・地域での行事への参加など、たくさんの楽しい思い出ができた夏休みが終わりました。

先日の始業式では、全国各地での酷暑や豪雨、台風、大きな地震などの自然災害について触れ、日々、普段通りに学校生活を送れることへの感謝を大切にしたいとお話ししました。本町におきましても、30℃を超える日や、キャンプ場周辺でのヒグマの目撃情報による施設の利用中止など、身近に危険を感じる場面がありました。2学期も危機管理を徹底し、安全・安心な学校づくりに一層努めていきたいと思っております。

さて、2学期が始まり2週間が経ちました。朝夕と日中の寒暖差が大きくなり、少しずつ秋の気配を感じる季節となっております。秋は、「実りの秋」と言われますが、学校にとっても学力や体力の向上をはじめ、全校での学芸会や6年生の修学旅行などがあり、まさに子どもたちが様々な面で大きな実りを得る学期と言えます。

この実り多い学期にするために、本校では学習や生活、行事等の取組において、「自分の目標（めあて）」を決めて取り組むことを大切にしています。目標とは、「自分ができるようになりたいこと」や「なりたい自分」を描くことです。そして、その未来の自分の姿を見据えて「具体的に何をするか」を設定することが重要です。例えば、「算数を頑張る」「忘れ物をしない」という抽象的な表現ではなく、「算数で習った内容はその日のうちにドリルで復習する」「帰宅したらすぐに翌日の時間割を確かめる」などといった具体的な行動にします。目標を具体的に設定することで、その後の「振り返り」も容易になります。「毎日復習することで分かるようになってきた」「すぐ準備するはずだったけれど、できなかった」というように自分の行動を客観的に振り返り（自分をちょっと離れたところから見つめ直す）、次のステップへ向けて何が必要かを自ら考える力が育ちます。振り返りを通して自分の考えや行動（良かった点も改善点も）を受け止め、新たな気付きを次に生かしていくことが、より良い成長へとつながっていきます。

現在、各学級で今学期の目標づくりを進めています。子どもたちが目標を設定し、自己を客観視しながら前向きに努力できるよう、教職員は「現在の実態把握」や「取り組みやすいスモールステップ化」「内発的動機付け（やる気を引き出すこと）などの支援を行ってまいります。また、振り返りの場面では、子ども同士が認め合う場の設定や、結果だけではなく試行錯誤した「過程（プロセス）」の評価、思考を深める問いかけの工夫などを実践してまいります。

2学期も子どもたち一人一人が大きな実りを得られるよう、教職員一同、力を合わせて支援を重ねてまいります。保護者や地域の皆様、関係機関の皆様には、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

【特別支援コーディネータの紹介】

本校の特別支援教育コーディネータをしています、工藤祐子です。特別支援教育コーディネータとは子どもたち一人一人が安心して学校生活を送り、自分らしく学ぶことができるように支援したり、お手伝いしたりする仕事です。夏休みが終わり、2学期の生活や学習も始まっていますがお子さんの様子でかわったことはございませんか？「学習について心配なことがある」「発達や行動について気になることがある」などお子さんの学校生活や発達、学習に関して、どんな小さなことでもお気軽にご相談ください。保護者の皆様と一緒にお子さんにとってよりよい支援の方法を考えていきたいと思っています。ご相談をご希望の方は担任を通してご連絡いただくか、学校までお気軽にお問合せください。どうぞよろしくお願いいたします。



夏の努力が咲かせた大きな花 ～夏休み作品展～

8月20～24日、夏休み明けの校内には、子どもたちの創意工夫が詰まった作品がずらりと並びました。工作や自由研究など、夏休みならではの豊かな体験や努力が形となり、どれも素晴らしい出来栄です。鑑賞した児童からは「すごい！」といった驚きと感嘆の声があがっていました。ご家庭での励ましと温かいご協力に心より感謝申し上げます。



学校と地域で守る、子どもたちの安心とルール

学校では児童の安心・安全のため、学習に関係のないものの持参や着用を禁止しております。最近ではアクセサリ類が見受けられますが、**ピアス等を含め、不要物の着用・校内への持参は認められません。**ピアスについては、皮膚の感染症や金属アレルギーを引き起こすリスクもあります（詳細は「ほけんだより」にも掲載しております）。ご家庭におかれましても、確実な管理とご指導をお願いいたします。

また、**道の駅交流館等の公共施設でのマナー（ゴミ処理や備品の扱い等）**についても、学校で繰り返し指導を行っておりますが、改善に至っていない現状があるようです。放課後や長期休業中の生活習慣・マナー向上には、保護者の皆様のお声がけや地域の見守りが欠かせません。

子どもたちが社会の一員として正しい判断を身に付けられるよう、ご家庭や地域でのご理解・ご協力をお願いいたします。

お金の大切さを学ぼう ～3年生 金融教育～

8月26日（水）に3年生を対象として、お金の役割や大切さを学ぶ金融教育の授業を行いました。当日は北洋銀行の皆様を講師にお迎えし、「お金のクイズ」を交えながら楽しく学べる特別な出前授業を実施していただきました。

身近にありながら、仕組みについてじっくり考える機会の少ない「お金」。子どもたちはクイズに目を輝かせながら参加し、お金の価値や正しく使うことの大切さについて理解を深めていました。お金との適切な付き合い方を知る、大変貴重な学びの機会となりました。ご協力いただきました北洋銀行の皆様、誠にありがとうございました。



- 1日（火）・スクールカウンセラー**
・町P連役員会（紙面）
- 3日（木）・6年修学旅行①**
- 4日（金）・6年修学旅行②**
- 8日（火）・全校朝会／クラブ**
・PTA役員会(15日に)
- 11日(金)・園小交流(年長と5年)**
- 12日(土)・4年PTA学年レク**
- 14日(月)・学芸会特別日課開始**
- 15日(火)・全校朝会**
・PTA運営委員会
- 17日(木)・あゆみ配付**
- 18日(金)・臨時休業**
(宗谷管内研究大会のため、中学校は授業があります。)
- 21日(月)・敬老の日**
- 22日(火)・国民の休日**
- 23日(水)・秋分の日**
- 25日(金)・漢字検定**
- 29日(火)・学校運営協議会**

前期学校評価アンケートへの回答ありがとうございました。 3.5以上：特に成果が見られる点（赤）　／　3.0未満：これからさらに伸ばしたい点・重点課題（青） 成果が見られた強みを伸ばしつつ、課題となった点については学校での指導法改善およびご家庭との連携強化を通して改善を図ってまいります。		
I 学校の教育目標について		
保護者	今年度の重点目標「『元気いっぱい笑顔でいきいき』の子どもの育成」や合い言葉「ちゃんと聞く、ちゃんと話す」の成果が見られる。	3.1
児童	合い言葉の「ちゃんと聞く、ちゃんと話す」を意識して、毎日「元気いっぱい笑顔でいきいき」と過ごしていますか。	3.3
保護者	学校の教育活動を通して、子どもたちがよく考え、自分の力を発揮して一生懸命学習に取り組む成果が見られる。	3.3
児童	学校の授業や勉強で、よく考えて、自分の力をいっぱい発揮して取り組んでいますか。	3.3
保護者	学校の教育活動を通して、子どもたちが元気に挨拶をし、決まりを守って人やものにやさしく接する成果が見られる。	3.2
児童	元気に気持ちのよい挨拶をして、決まりを守り、人やものを大切にしていますか。	3.4
保護者	学校の教育活動を通して、子どもたちが元気に体を動かし、目標に向かって粘り強く挑戦し続ける成果が見られる。	3.4
児童	元気に体を動かして、目標に向かってあきらめずに挑戦し続けていますか。	3.5
全体を通して3.1～3.5と肯定的な回答が多く、本校の教育目標や重点的な取り組みの成果が児童・保護者双方に定着しつつあります。特に「元気に体を動かし目標に向かって挑戦する姿（児童3.5）」については高い評価となりました。今後も「ちゃんと聞く、ちゃんと話す」の合い言葉を軸に、主体的な学びと温かい人間関係づくりを推進してまいります。		
II 授業・学習指導について		
保護者	学校は、ICTを活用するなどの授業改善を続け、わかる・楽しい授業づくりに努めている。	3.2
児童	授業は楽しいですか。	3.0
児童	タブレットを学習に役立てていますか。（2年生以上）	3.5
児童	国語の授業はよくわかりますか。	3.4
児童	算数の授業はよくわかりますか。	3.1
児童	理科の授業はよくわかりますか。（3年生以上）	3.2
タブレット端末を活用した学習（児童3.5）や国語科の理解度（児童3.4）において高い評価を得られた一方、「授業が楽しい（児童3.0）」や「算数科の理解（児童3.1）」には課題が見られます。ICTの効果的な活用を進めつつ、児童が「わかる・できる」を実感できる授業づくりや、算数科を中心とした個別最適な学びの充実を図ってまいります。		
III 学校生活・安心安全について		
保護者	学校は、地域の力（人材・施設・環境など）を生かした教育活動を進めている。	3.3
児童	地域の人から学んだり、地域の場所へ出かけたりする学習は楽しいですか。	3.7
保護者	学校は、「いじめの撲滅」や「いじめを認知し、その解消」へ向けて積極的に取り組んでいる。	3.3
児童	いじめはぜったいにはいけないこととわかっていますか。	3.9
保護者	学校は、教育活動全般にわたって、子どもたちの「安全確保」に努めている。	3.5
児童	交通ルールや約束を守って安全に過ごしていますか。	3.8
保護者	お子様は、学校に楽しく通っている。	3.4
児童	学校は楽しいですか。	3.2
地域人材を活用した学習（児童3.7）や学校の安全確保（保護者3.5／児童3.8）、いじめ防止の意識（児童3.9）において非常に高い評価となりました。子どもたちが安心して安全に生活できる環境が整っていることの表れと受け止めております。今後も地域と連携した豊かな教育活動を展開し、一人一人が楽しく安全に通える学校づくりを継続してまいります。		

IV 望ましいメディア使用・学習習慣について		
保護者	お子様は、学年の目安時間の家庭学習（宿題も含む）をしている。	2.9
保護者	お子様が、学年の目安時間の家庭学習（宿題も含む）をするよう働きかけている。	3.3
児童	家庭学習や宿題に進んで取り組み、20分(1年)、30分(2年)、40分(3年)、50分(4年)、60分(5年)、70分(6年)　勉強していますか。	2.9
保護者	お子様のメディア使用（ゲームやSNSなど）の時間は適切である。	2.3
保護者	お子様のメディア使用（ゲームやSNSなど）の時間が適切になるように働きかけている。	3.1
児童	ふだんの日のゲーム・インターネット・YouTube・SNSなどの時間（４：０～１時間、３：１～２時間、２：２～３時間、　１：３時間以上）	2.6
保護者の皆様におかれましては、家庭学習やメディアの使用時間について「働きかけている（3.3 / 3.1）」と回答いただいた一方で、実際の時間や定着（2.9 / 2.3）には悩まれている実情が伺えます。スマホやゲームとの付き合い方、家庭学習の習慣化は、現代のどの家庭にとっても非常に難しい共通の課題です。学校でも「メディア対策強化週間の取組」や「宿題の出し方の工夫」「学習へのタブレットを活用」など、ご家庭と連動したサポートを引き続き検討してまいります。ぜひ一緒に子どもたちの健やかな習慣づくりに取り組んでいきましょう。		
V 児童の意識・生活について		
児童	授業で自分の発言や行動が学級の役に立っていると思いますか。	2.9
児童	自分にはよいところがありますか。	3.0
児童	朝ごはんを毎日食べていますか。	3.7
児童	家で読書をしていますか。	2.8
朝ごはんの摂取（児童3.7）など基本的生活習慣は定着している一方で、家での読書習慣（児童2.8）や、「自分の発言・行動が学級の役に立っている（児童2.9）」という自己有用感に課題が見られました。読書環境の充実を図るとともに、授業や特別活動の中で児童一人一人の活躍の場を意図的に創出し、自己肯定感・自己有用感を育む指導に力を入れてまいります。		
※自由記述欄に寄せられたご意見は、趣旨を尊重しつつ、文字数の都合や個人情報保護等の観点から、一部要約した形でご紹介させていただきます。		
【自由記述】登校時、地域の方が校門前に犬を連れてきており、戯れた際にひっかかれたり防寒具が取られたりする。大きな事故になる前に対応できないか。		
【回答】朝の登校時に地域の方や犬が出迎えてくれる場面では、動物とのふれあいを喜んでいる児童もいます。また、地域の方々が児童の登校を見守っている状況は、学校としても感謝しております。一方で、接し方によっては、意図せず擦り傷を負う等トラブルにつながってしまうケースもあります。学校でも「不用意に手を出さない」等の注意喚起を行いますが、ぜひご家庭でも「登校中の動物との適切な接し方」についてお子様とお話しいただき、安全に登校できるようご協力をお願いいたします。今後とも、子どもたちが安全に、そして安心して登校できるよう見守ってまいります。		
【自由記述】子ども達のために、これからもよろしく願っています。		
【自由記述】いつも子ども達の為に教育して下さりありがとうございます。		
【回答】心温まるお言葉をいただき、職員一同大変励みになっております。保護者の皆様のご理解とご協力があってこそその教育活動だと感じております。今後とも子どもたちが元気いっぱい笑顔でいきいき登校できるよう尽力してまいりますので、変わらぬご理解とご支援をよろしくお願いいたします。		
【自由記述】中学校と小学校（高学年）の参観日が毎回重なるのをやめてほしい。		
【回答】兄弟姉妹がいるご家庭におかれましては、参観日程の重複によりご不便をおかけしており、大変申し訳ございません。今後は、できる限り保護者の皆様がどちらの参観にもご出席できるよう、中学校との年間行事調整の段階で日程を分散させるなどの工夫をします。		
【自由記述】中学年という難しい時期において、大人が多角的な視点を教えることが大切だと感じている。先生方のお力を借りながら乗り越えたい。		
【回答】温かいご理解とご示唆をいただき、心より感謝申し上げます。保護者様のおっしゃる通り、子どもたちが多角的な視点に気づき、失敗から学びながら成長できるよう寄り添う指導は、学校としても非常に大切にしている部分です。今後もご家庭と連携しながら、全職員でお子様の成長を支えてまいります。気になることがございましたら、いつでも遠慮なくご相談ください。		